A 試合会場レポート

バレーボール No.8

試合番号 003　開催日

インターハイ女子　会場：

観客数：	開始時間： 12:20	終了時間： 13:34	試合時間： 01:14	主審： 坂口　美華	副審： 白坂　菜々美

金蘭会			就実
監　督：池条　義則 コーチ：林　寛二			監　督：西畑　美希 コーチ：水田　智大
通　算：1 勝 0 敗 勝　点：2	3	0	通　算：0 勝 1 敗 勝　点：1

25	第1セット【00:25】	22
25	第2セット【00:24】	23
25	第3セット【00:19】	14
	第4セット【　】	
	第5セット【　】	

勝　点 2　　【】内はセット時間　　勝　点 1

() 内は交代選手

<監督コメント>

<監督コメント>

第1セット　25 － 22

馬場	西村		比留間	髙橋
徳元（平野）	花岡		大森（牛田）	押川（加藤）
大森	花岡（岡）		福村	石田

リベロ：西川　　リベロ：築瀬

第2セット　25 － 23

馬場	西村		比留間	髙橋
徳元	花岡		大森	押川
大森	花岡（岡）		福村	石田（牛田）

リベロ：西川　　リベロ：築瀬

第3セット　25 － 14

馬場	西村（岡）		比留間	髙橋
平野	花岡		大森（加藤）	押川（仙波）
大森	花岡		福村	石田

リベロ：西川　　リベロ：築瀬

第4セット

リベロ：　　リベロ

第5セット

リベロ：　　リベロ

<要約レポート>

２年ぶりの優勝を目指す金蘭会高等学校と、５年ぶりの優勝を目指す就実高等学校との決勝。
第１セット、序盤は就実のキャプテン、４番福村のスパイクと、金蘭会の多彩な攻撃で一進一退の攻防を繰り広げるが、金蘭会が１番大森のサービスエースや５番是澤のブロックなどで中盤に点差を広げる。就実もレフトからのスパイクで反撃するが、金蘭会はリードを保つ。終盤、就実は２枚替えでリズムを変えて点差を縮めるも、最後は金蘭会の７番馬場のスパイクでセットを先取した。
第２セット、序盤は金蘭会が高さを生かして得点を重ねるが、就実も粘りのバレーで追いかけ、２番押川の連続スパイクなどで中盤にリードする。しかし、金蘭会が的を絞らせない攻撃で追いつく。終盤は接戦になったが。金蘭会が、リリーフサーバー９番岡のサービスエースで突き放し、そのまま第２セットも連取した。
第３セット、後がない就実は両サイドからの攻撃を仕掛けるが、金蘭会はナイスレシーブからの思い切りのいいスパイクが連続で決まり、序盤から大きく点差を広げる。就実も２番押川と１番髙橋、３番比留間のサービスエースで反撃するが、金蘭会は高いブロックで流れを渡さない。最後は金蘭会の１１番平野のライト攻撃が決まり、セットカウント３－０で、金蘭会高等学校が２年ぶり３回目の優勝を決めた。

作成者：

※本票の著作権は、公益財団法人日本バレーボール協会に帰属します。